

～ 採血 Q&A ～

Q1. 採血は何ccくらいとるの？

A

基本の採血は3種類の採血管で合計10cc程度です。
オプション検査の追加がある場合はさらに追加採血が必要になることがあります。

Q2. 貧血で倒れない？

A

献血は200mLや400mLの採血です。今回の採血量は10～20mLですので、貧血になることはありません。また、日常生活にも支障はありません。

Q3. 採血で気分が悪くなったことがあるんだけど・・・

A

原因としては迷走神経反射が考えられます。注射針を見ることや、採血時の痛み刺激や不安など過度のストレスを誘因とし、体を守ろうとすると迷走神経が強く働きすぎることで、心拍数が落ちて抹消血管が拡張し、血圧が低下して倒れてしまう状態です。一度でも採血で気分不快になった事がある方は、横になっての採血をおすすめします。

Q4. うっかり朝ごはんを食べてしまったけど、採血はできる？

A

採血検査は可能ですが、血糖値や脂質の値に影響が出るため、食後何時間での採血か確認させていただき、検査を提出します。
健康保険組合によっては採血できない場合もありますので、その場合は時間を空けてから実施させていただきます。
※血糖値には、清涼飲料水、甘いコーヒーやアメ、ガムなども影響します。

Q5. この採血で、何がわかるの？

A

血液は全身を隅々までめぐっているため、体のどこかに異常があると血液の成分にその影響が現れます。血液検査では全身の健康状態を知ることができます。
3種類の採血管それぞれによって検査内容は違いますが、基本的には貧血の有無や糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病が隠れていないか、肝臓や腎臓が健康的に機能しているか、炎症は起きていないかなどを知ることができます。
検査内容は健診コースによって若干異なります。

Q6. 腫瘍マーカーのオプション、どれを受けたいのかな？

A

体内に腫瘍ができると、血液や尿に含まれる蛋白や酵素、ホルモンなどが急激に増えることがあります。これらの物質を腫瘍マーカーと言い、量や種類によって、腫瘍の存在を知る手がかりとします。一般的には「腫瘍（がん）」が大きくなるほど体内でその量が増えますが、早期のがんではあまり上昇しません。また、腫瘍マーカーが基準値を超えていても、すぐにがんの存在を意味するものではありません。この点を踏まえ、お客様ご自身が気になるところを、オプション検査として追加していただけます。

腫瘍マーカー	内容
CEA	主に胃・大腸など消化器系のがんで高値を示す最も一般的な腫瘍マーカーです
CA19-9	主に消化器系の膵臓・胆のうなどのがんで高値を示します
AFP	主に肝臓がん・肝疾患等で高値を示します
CA125	主に卵巣がんなどで高値を示します
抗p53抗体	主に食道がん・大腸がんなどで高値を示します
CYFRA	主に肺がんなどで高値を示します
SCC	主に肺がん・子宮頸がんなどで高値を示します